

(2) 災 害

西 歴	年 月 日	災 害 状 況	備 考
1681	天和 1. 8. 16	風水害、死者数百人	
1687	貞享 4. 9. 9	大雨洪水	
1702	元禄 15. 8.	大雨洪水	
1707	宝永 4. 9.	8月17日、9月12日大風洪水	
1722	享保 7. 8.	田野海の如し、人畜溺死多し	
1738	元文 3. 8. 11	大風雨洪水	
1740	元文 5. 7. 17	大風雨洪水	
1741	寛保 1. 7. 22	大風雨、倒壊家屋24余戸	
1744	延享 1. 8. 10	大風雨洪水	
1747	延享 4. 8. 19	大風雨洪水	
1748	寛延 1. 7. 21	大風雨洪水	
1752	宝暦 2. 7. 4	大洪水、土器川決壊寸前	
1757	宝暦 7. 7. 26	大風雨洪水、家倒壊数千（綾歌町史）	
1765	明和 2. 8. 2	大風雨洪水	
1772	安永 1. 8. 20	大風洪水	
1782	天明 2. 5. 4	暴風洪水、浮苗数千町歩、家屋崩壊流失 233戸 被舟50（綾歌町史）	
1815	文化 12.	大洪水のため、川堤所々切損、海手潮堤大破	
1847	弘化 4.	稀なる洪水、堤左右 200間切損、人家大破流失	
1854	安政 1. 7.	満濃池堤防決壊、田畑被害	
1884	明治 17. 8. 25	豪雨による風水害、家屋倒壊浸水、人畜死傷	
1896	明治 29. 8. 30	土器川、金倉川大水、大水害	雨量…県南部山間 270.9mm 丸亀 95.3mm
1899	明治 32. 8. 28	県 下 河川堤防決壊 13ヶ所 延長 999m 河川堤防破壊 90ヶ所 延長 2,950m 被害は丸亀平野に集中	
1912	大正 1. 9. 23	土器川堤防欠壊 4ヶ所 延長 57間 排水堤防欠壊 4ヶ所 延長 100間 浸水家屋 360戸 流出家屋 15戸	民家 1.5 m浸水

西 歴	年 月 日	災 害 状 況	備 考
		罹災救助 318人 浸水反別 158町歩	
1918	大正 7. 9. 14	大洪水、堤防決壊、土居、風袋町、瓦町、上金倉、下金倉などで床上浸水、下井、高津、新田の一部で収獲皆無	
1934	昭和 9. 9. 21	室戸台風が来襲し被害甚大 県下に暴風雨が来襲	
1938	昭和 13. 9. 4	県下に暴風雨が来襲 死者 17人	
1949	昭和 24. 7. 28	県 下 家屋浸水 253戸（床上10、床下243） 流出家屋 5戸 堤防欠潰 11ヶ所 浸水田畑 238ha	ヘスター台風
1954	昭和 29. 9. 13	県 下 死者 1人、被災者 2,180人	台風13号
1972	昭和 47. 9. 13	県 下 床上浸水 1,344戸、床下浸水 8,764戸 田流失・埋没 243ha、冠水 2,676ha 畑流失・埋没 146ha、冠水 143ha 堤防欠損 1,206ヶ所	台風20号
1975	昭和 50. 8. 22	県 下 床上浸水 168戸、床下浸水 2,308戸 田畑流失・埋没 16ha、冠水 4,140ha 堤防欠損 1,948ヶ所 土器川 被災 23ヶ所、河床洗掘 4m、破堤寸前	台風 6号 祓川橋 1,130m ² /s
1976	昭和 51. 9. 8	土器川 14K/900の堤脚部護岸流出、約50% の堤防断面が延長 100mにわたって崩落	台風17号
1977	昭和 52. 9. 4 ～ 13	公共土木施設被害額 6,037千円	台風 9号と豪雨
1979	昭和 54. 9. 30	県 下 床上浸水 33戸、床下浸水 2,178戸、 田畑冠水 345ha 土器川 被災 2カ所、護岸の崩壊及び堤脚洗掘	台風16号
	昭和 54. 10. 19	県 下 床上浸水 2戸、床下浸水 748戸 田畑冠水 18ha 土器川 低水路洗掘、潮止堰周辺土砂堆積、量 水標流失	台風20号
1987	昭和 62. 10. 17	県 下 床上浸水 3,458戸、床下浸水 15,007戸 田畑流失埋没 84ha、田畑冠水 1,941ha 土器川 被災 13ヶ所、低水護岸の脚部洗掘	台風19号

6. 主要年表

年(西暦)	土器川関係	建設省関係	一般関係
大宝 1(701)			道守朝臣が讃岐の国司となる。 那珂郡満濃池を築く。
天平勝宝1(756)			讃岐国分寺建立
仁和 2(886)			1. 菅原道真が讃岐守となる。
4(888)			5. 菅原道真、城山に雨を祈り大雨、民百姓よろこぶ。
貞元 1(976)			7. 讃岐国一円に大地震絶えず。
元暦 2(1185)			2. 源義経、屋島に平家を追撃し、平家西海に敗走す。
承元 1(1207)			2. 僧源空(法然・円光大師)讃岐へ流される。
天正 6(1578)			長宗我部元親、讃岐へ進攻す。
13(1585)			4. 秀吉の四国征伐の一隊、高松城主高松左馬助頼邑らを攻略する。
15(1587)			1. 秀吉、尾藤甚右衛門を讃岐に封じたが程なく除封 8. 生駒親正を封ず
慶長 1(1596)			7. 讃岐に大地震あり
8(1603)			2. 生駒親正死去(69歳)
15(1610)			3. 生駒一正死去(56歳) この年、丸亀商人を高松に移し、丸亀町をつくる。
寛永 5(1628)			伊勢の藤堂家家臣西島八兵衛を招き、満濃池、三谷三郎池を修築させる。
14(1637)			西島八兵衛、松島から新川までの堤防を築く、香

年(西暦)	土器川関係	建設省関係	一般関係
寛永 19(1642)			東川の水路一つは一宮、一つは岩清尾山の西側に水路の変更をなす。 5. 徳川光圀の兄松平頼重高松玉藻城にはいる。
正保 1(1644)			4. 旧郷東川の伏流及び湧出泉水から樋によって、城下の1,000戸に配水を引き、上水道の敷設を起す。 この年、矢延平六が溜池を修築、溜池の数1,372となる。
万治 1(1658)			2. 京極高知が丸亀に移封され、西讃5万3000石を領す。
天和 1(1681)			8. 大風洪水のため水死者100人、被害はなはだしく飢えるもの多数
寛保 1(1741)			7. 大風雨、民家2000戸倒壊
明和 7(1770)			平賀源内、江戸でエレキテルを発明する。
文政 7(1824)			10. 久米通賢、藩主頼義に坂出浦塩田開墾を建議し、建白書を出す。 この年秋、中山城山「全讃史」をあらわす。
11(1828)			
万延 1(1860)			1. 太平洋横断の咸臨丸乗組員として、塩飽諸島より水夫35人が参加する。
明治 1(1868)	長谷川佐太郎、満濃池修築を太政官に歎願して許可になる。		
2(1869)	9. 満濃池修築に着手		
3(1870)	6. 満濃池堤防復旧なる。		
4(1871)			12. 廃藩置県香川県を置く。

年(西暦)	土器川関係	建設省関係	一般関係
明治 6(1873)			2. 香川県を廃し、名東県に合併、名東県より分離し、香川県再置。
8(1875)			再び香川県を廃し、愛媛県に合併。
9(1876)	満濃池堤防再築		
12(1879)	満濃池水利土工会発足		
19(1886)			大久保湛之丞猪ノ鼻峠に四国新道を起工。愛媛県より分離し、香川県設置。
23(1890)	8. 丸亀町御供所の土器川裾の堤防工事に着手		
25(1892)	8. 剣来出水で水利紛争		
26(1893)	満濃池普通水利組合を組織		
29(1896)	8. 暴風雨、土器川橋流失		4. 河川法公布
30(1897)		2. 香川県管内6工区に区分	3. 砂防法公布
31(1898)		5. 上記廃止	
32(1899)			郡制実施
35(1902)	3. 祓川橋竣工 7. 土器川橋架替発注		
37(1904)		六郷村(丸亀)で金倉川に集水きよを設け、ポンプ揚水(県下最初)	
39(1906)	1. 満濃池堤防嵩上及び余水吐改造に着手 4. 同上完成		
40(1907)	8. 暴風雨		水利組合法発布
41(1908)			
44(1911)	2. 汐入川付替水面埋立起工		
大正 1(1912)	備中地川砂防山腹工事竣工		
	9. 大洪水、土器川堤防各所で決壊		
2(1913)	2. 造田村城山、砂防区域指定 8. 満濃池干魃のため底樋(証文閘)を抜く。		
3(1914)	12. 満濃池樋管改良及び配水塔工事竣工		
4(1915)	2. 岩の手池、下新池増築工事竣工		

年(西暦)	土器川関係	建設省関係	一般関係
大正 6(1917)	5. 丸亀橋竣工		
7(1918)	8. 9. 暴風雨 土器川・金倉川氾濫		
10(1921)	第一次治水計画第二期河川に土器川が入る。		
12(1923)		11. 県の土木工区事務所施行第1〜4土木工区事務所	
14(1925)	満濃池の増築計画調査に着手	4. 土木工区事務所規程改訂・中部・東部・西部土木工区事務所	
昭和 1(1926)	7. 土器川堤防決壊18m(栗熊村)		郡制廃止
2(1927)	満濃池増築(1.5m嵩上等)及び財田川よりの承水路(L=400m)新設に着手		
5(1930)	満濃池増築完成		
7(1932)		8. 土木出張所規程 長尾・高松・土庄・善通寺・観音寺土木出張所	
8(1933)	11. 第三次治水計画で土器川は直轄河川より外された。		
9(1934)	9. 室戸台風 5〜9. 大干魃	5. 内務省神戸土木出張所香川国道改良事務所として発足、事務所を高松港務所内に設置	
10(1935)	9. 御用橋竣工	8. 事務所を高松市塩上町に移転	
11(1936)	5. 土器川橋竣工(現国道32号)		
14(1939)	梅雨入りより干天続き、かつてない大干魃	4. 事務所を綾歌郡宇多津町に移転	
16(1941)	満濃池増築(6m嵩上)に着手		12. 太平洋戦争始まる。
17(1942)	3. 造田砂防事務所規程公布(4/1)		
18(1943)	土器川直轄改修	4. 内務省神戸土木出張所香川国道工事事務所に名称変更 11. 内務省中国四国土木出張所香川国道工事事務所となる。	

年(西暦)	土器川関係	建設省関係	一般関係
昭和 20(1945)			8. 太平洋戦争終結 8. 大東亜省・軍需省・農商務省を廃止 商工省・農林省を設置 9. 枕崎台風 12. 閣議、戦災地復興計画基本方針を決定
21(1946)			4. 四国四県が四国地方国土復興促進会設立 11. 日本国憲法公布 12. 南海大地震 12. 全府県に土木部を設置・農地法公布
22(1947)		12. 事務所を丸亀市風袋町に移転	5. 新憲法実施 11. 内務省に治水調査会設置 12. 建設院設置法公布
23(1948)		1. 建設院の設置に伴い建設院中国四国地方建設局香川国道工事事務所となる	1. 建設院発足 7. 建設省設置法公布 7.10 施行 10. 建設省設置
24(1949)		7. 建設省の設置に伴い建設省中国四国地方建設局香川国道工事事務所となる。 12. 香川工事事務所に名称変更 8. 県水防協議会を土木部に置く。 8. 県が水防信号規則制定	5. 建設業法公布 5. 農林省・運輸省設置法公布 8. ジュース台風 5. 国土総合開発法公布 9. ギジア台風 9. ジェーン台風
25(1950)	8. 改修工事に着手 9. ジェーン台風・キジャ台風 11. 中方橋竣工		4. 建設省河川総合開発事業を開始 9. 講和条約・日米安保条約調印 10. ルース台風 12. 総理大臣・国土総合開発法に基づく特定地域を指定
26(1951)			7. 電源開発促進法公布
27(1952)		7. 県が河川管理規則を制定	10. 閣議、治山治水基本対策要綱を決定
28(1953)		7. 長柄ダム・内場ダム竣工	
29(1954)		9. ジェーン台風	

年(西暦)	土器川関係	建設省関係	一般関係
昭和 31(1956)			3. 日本道路公団法施行 9. 工業用水法施行
32(1957)		4. 県河川課を河川砂防課に名称変更 4. 五名ダム竣工 4. 香川国道工事事務所に名称変更 7. 事務所を高松市高松町に移転(現在の所在地)	3. 特定多目的ダム法公布 6. 自然公園法公布
33(1958)		6. 四国地方建設局設置に伴い、建設省四国地方建設局香川国道工事事務所となる。 6. 一級国道11号木田郡牟礼村～善通寺市金蔵寺町(42.1km)の直轄維持管理実施	3. 道路整備緊急措置法公布 3. 地すべり等防止法公布 4. 工業用水事業法公布 6. 四国地建開設
34(1959)			9. 伊勢湾台風
35(1960)	県営土器川右岸用水改良事業のうち備中池完成		3. 治山治水緊急措置法公布 10. 政府・国民所得倍増計画発表 12. 治山治水事業10ヶ年計画
36(1961)	9. 室戸第二台風	4. 一級国道32号善通寺市金蔵寺町～善通寺市大麻(5.9km)の直轄維持管理実施	9. 第2号室戸台風上陸 11. 水資源開発促進法公布(同日施行) 水資源開発公団法公布(S 37. 2. 16施行) 11. 災害対策基本法公布 11. 住宅造成等規制法公布
37(1962)			4. 四国地方開発審議会に吉野川総合開発部会を設置(5月発足) 5. 水資源開発公団設立 10. 「全国総合開発計画」閣議決定
38(1963)	土器川直轄河川事業開始(調査)	大川ダム竣工 4. 香川工事事務所に名称変更	
39(1964)			7. 河川法(S41.4.1施行) 7. 新河川法公布(S 40. 4. 1)

年(西暦)	土器川関係	建設省関係	一般関係
昭和39(1964)			7. 1級国道2級国道の区別を廃止し、一般国道とする。 10. 国鉄東海道新幹線を開業 10. 第18回オリンピック東京大会開催
40(1965)	1. 本流砂防堰堤工事竣工 3. 土器町土器川改良工事竣工(L=183m)		3. 1級河川15水系3.751河川指定の政令公布(4.1.施行) 4. 新河川法施行 8. 第2次治水事業5ヶ年計画
41(1966)	8. 土器町土器川改良工事着手(年度内竣工)	府中ダム竣工 3. 国道11号、30号、32号の一次改築完了 5. 国道11号、30号、32号全線(134.2km)の直轄維持管理実施	
42(1967)	土器川砂利採取全面禁止(香川県)		4. 水資源開発公団が早明浦ダム建設所で開所式を行う。 6. 下水道整備緊急措置法公布
43(1968)	4. 土器川一級水系となる直轄管理開始 土器・本村堤防に着手	野口ダム竣工 4. 土器川が一級河川に指定、河口から18.85kmが直轄管理区間となり、改修工事及び維持管理実施	7. 建設省創立20周年、各種行事行われる。
44(1969)			7. 米国アポロ11号、月面着陸
45(1970)	土器川堤防完成	4. 県道高松琴平豊浜線のうち高松琴平間が一般国道32号に昇格	1. 本州四国連絡橋団の新設決定 10. 伊方原子力発電所建設着工(四国電力) 10. 道路構造令公布 12. 水質汚濁防止法公布
46(1971)	土器川運動公園建設始まる(環境整備事業) 川西堤防着手	12. 11号高松北バイパス完成	7. 環境庁発足
47(1972)	8. 土器川清水川水門完成 本村堤防完成 羽間堤防着手		3. 山陽新幹線岡山まで開業 6. 田中角栄「日本列島改造論」発表

年(西暦)	土器川関係	建設省関係	一般関係
昭和48(1973)	異常濁水・満濃池から高松市に緊急送水 8. 土器川下流一帯に塩害発生	早明浦ダム竣工	
49(1974)	飯野堤防県道との合併施工に着手		
50(1975)	8. 台風6号による土器川被災(C=12億円)	3. 池田ダム完成 4. 11号高松南バイパス全線暫定供用開始	8. 吉野川ダム統合管理開始 8. 台風6号では吉野川中流域及び土器川を中心として洪水が発生 3. 吉野川池田ダム完成
51(1976)	乙井橋改築を災害復旧・道路との3者合併施工により完成	3. 新宮ダム、旧吉野川河口北完成	
52(1977)	4. 土器川潮止堰建設事業に着手	6. 第5次治水事業5ヶ年計画閣議決定	6. 第5次治水事業5ヶ年計画の閣議決定 3. 早明浦ダム完成 11. 大平内閣誕生
53(1978)			
54(1979)	3. 潮止堰完成 9. 台風16号	3. 四国縦貫自動車道徳島～脇町施工命令 9. 台風16、20号 9. 台風13号 10. 台風19号	6. 衆参同日選挙
55(1980)	垂水堤防に着手		
56(1981)			
57(1982)	6. 古子川樋門完成 12. 垂水堤防完成 12. 県道(岡田～丸亀)と飯野合併事業着手	7. 長崎に集中豪雨	7. 長崎に集中豪雨 10. 中曽根内閣誕生
58(1983)	3. 川西堤防完成 成願堤防に着手 丸亀橋架替に着手		5. 日本海中部地震死者104名
59(1984)		5. 香川工事事務所開設50周年 12. 11号高松南バイパス完成	
60(1985)	2. 予讃線土器川橋梁改築着手 6. 梅雨前線による出水 11. 環境整備と自転車道の合併工事着手		8. 日航機墜落520人死亡 12. 明石海峡大橋の61年度着工決まる 12. 四国21世紀懇談会発足
61(1986)	10. 土器川河川環境管理協議会発足		
62(1987)	3. 丸亀橋架替完成 5. 土器川水防演習実施 10. 台風19号被災13カ所		10. 四国横断自動車道土器川橋梁起工式